



社会医療法人 智徳会

未来の風せいわ病院

地域医療連携室ニュースレター

ごあいさつ



副院長
佐々木 浩行

平素より当院の運営にご理解とご協力を賜り心より感謝申し上げます。先日、兵庫県知事選が行われ齋藤元彦氏が再選しました。「オールドメディアがSNSに負けた」という報道もありますが、取材に応じた有権者の声「新聞やテレビを鵜呑みにしていたが、偏向報道で誘導されている気がしたので、ネットも調べた上で総合的に判断し投票した」が代表的な声ではなかったかと思います。事実と報道の乖離に不自然さを感じた方々が声を上げ、立花孝志氏が立候補したことで政官財癒着による利権構造の闇がその根底にあるのではないかと指摘され大きなうねりとなりました。県庁舎1000億円建て替え工事の凍結、天下りの廃止等次々に改革していく中で、反対勢力によるクーデターが起こったという見方です。元県民局長から7項目の告発文書（怪文書）が報道機関、県警等に送られ百条委員会が設置、結論が出ないまま不信任決議が可決され知事選挙となりました。その後選挙プランナーコンサル会社女性社長がSNS戦略の裏側をSNSで公開し、公職選挙法に抵触するのではないかと再び報道が過熱しています。様々な人の思惑が絡み合い、何が真実か分かり難くなっています。私たちは、情報を鵜呑みにせず、一人ひとりが光と闇を慎重に見極め、弁別する必要があると感じています。今回明らかになったことは「政官財・マスコミの利権がらみの癒着の構造的な闇があるのではないか」ということと「新聞やテレビも偏向報道しているのかもしれない」ということではないかと思います。今、世界は激動の時代を迎えています。医療・介護分野では2025年問題が目前と迫り、団塊の世代が75歳以上となる超少子高齢・多死社会を迎えようとしています。医療・介護福祉分野の制度も大きく激変していきませんが、今後も地域の皆様と協力して、地域医療、福祉に一層尽力してまいりますので、何とぞ宜しくお願い申し上げます。

基本理念

すべてのひとがいいきと自分らしく生きていける地域社会づくり

8つの基本指針

1. 私たちは、常に笑顔絶やさずことなく最高のサービスを提供します
2. 私たちは、「ひとの心の痛み」に涙する。温かく深い人間性と豊かな感性を磨きます
3. 私たちは、いのちの尊厳と基本的人権を尊重します
4. 私たちは、社会的使命をもってよりよい地域社会づくりに努めます
5. 私たちは、職業人として技術と資質の向上に努めます
6. 私たちは、よりよい職場づくりのために対話と相互理解に努めます
7. 私たちは、共に働く仲間たちに感謝し、自らの仕事に誇りを持って働きます
8. 私たちは、高い志をもち、我が国を代表する病院・施設づくりに努めます

トピックス

■ワークライフバランス（WLB）の取り組み

当院では、令和4年度から岩手県看護協会が取り組んでいるWLB推進ワークショップ事業に参加させていただき、ミッションに当院の理念を、そしてビジョンに「TEAMせいわ」を掲げ、職員のひとりひとりが生き生きと過ごせるよう、また健やかに働けるようワーク・ライフ・バランスに取り組んでまいりました。

院内報での健康コラムについての掲載、並びにWLBインデックス調査の結果を紙面にて公表。そして社内制度の周知のために社内制度冊子の作成と配布などを行いました。

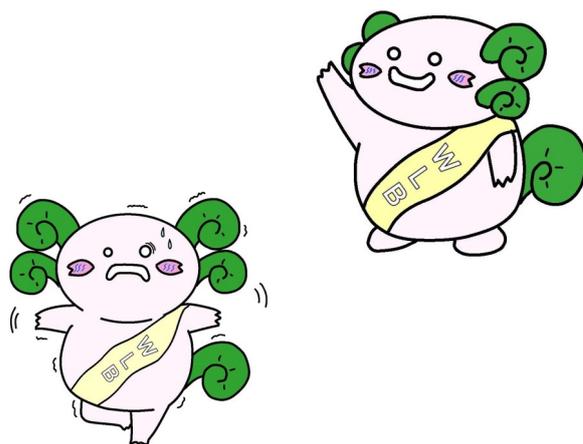
また離職防止対策、専門研修参加への積極的支援も実践してきました。

途中、主要メンバーの退職などもあり、活動が滞ったこともありましたが、なんとか継続することができました。

引き続き、ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）を推進し、「ワーク」と「ライフ」の充実を図り、個人も組織もハッピーになることを目指して取り組んでまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。



WLB委員会



WLBキャラクターワラビー君

■指定特定相談支援事業所みらいの風

関係機関の皆様には日頃より大変お世話になっております。

指定特定相談支援事業所みらいの風では、障がいをお持ちの方からのご相談をお受けし、障害福祉サービスの利用に向けて計画を作成するなど、関係機関と連携しながら身近な地域で生活が送れるようお手伝いしています。令和3年4月より職員は変わらず、相談支援専門員3名、事務員1名体制となっております。未来の風せいわ病院に併設していることから、精神疾患をお持ちの方からの相談が多い状況ですが、未来の風せいわ病院以外に通院されている方からも、多数ご利用いただいておりますので、お気軽にご相談いただければと思います。新規のご利用につきましても、サービス更新月により若干の空きがある箇所もございます。利用者様が皆、自分らしく生活できるよう取り組んで参りたいと思いますので、今後ともよろしくお願いいたします。

■たんぽぽ保育所

たんぽぽ保育所では未来の風せいわ病院、老人保健施設康楽苑で仕事をされている職員のお子さんを中心に預かりしています。2か月から満3歳になった年の3月までのお子さんが利用でき、定員は10名となっております。

保育士3名、栄養士（調理）1名で、子供達の成長を一緒に見守っています。保育所専属の栄養士がいるので、毎日温かく栄養たっぷりの昼食やおやつを食べることができます。また院内にあるため、保護者も安心して預けられるのではないかと思います。

一時保育や一般のお子さんの受け入れも行っております。自然の中にあるので、春は桜並木を散歩、秋にはどんぐりや栗拾いができます。今後も保護者が安心して働くことができ、子供たちが楽しく伸び伸びと過ごせるような場所を提供していきたいと思っています。



■院内感染対策室

本年4月に感染対策室が新設され、ICT（感染制御チーム）とともに患者さんや病院職員など、病院内すべての人を感染から守るため、日々活動しています。院内巡回を週1回行い、感染対策の実施状況の把握と指導を行ったり、感染対策研修会の開催、感染だよりの発行、院内感染が疑われる事例が発生した場合には速やかに対応するなど活動しています。また地域の医療機関と連携し、定期的なカンファランスにも参加しております。

11月は初めて手指衛生強化期間として、各部署で取り組みを行いました。手指消毒剤の使用量増加などの成果が見えそうです。今年の冬は多くの感染症が流行するといわれています。今後も感染対策に努めてまいります。



手指衛生強化期間

11/1(金)~11/30(土)

Clean Hands, Safe Hands



11月1日~30日は手指衛生強化期間とします。
職員全員が手指衛生に積極的に取り組み、
感染対策を強化していきましょう。

～新規の受診・入院相談～

019-696-2055 にお電話下さい。

相談時間 平日：9:00～16:00

FAX:019-696-4185

初診・再診の予約制を実施しております。電話対応した事務員に地域医療連携室とご指定ください。はじめての受診・入院相談は地域医療連携室がお受けいたします。受診の際には、下記URLから患者紹介FAX申込書を別途ダウンロードしてお使いください。

URL：<https://mirai-seiwa.com/chikiiryorenkei/iryokikan>

外来担当医

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
新患担当			田嶋医師	佐々木(浩)医師 菊地医師 鈴木医師	佐藤医師	再診のみ 第1・第3 佐々木(浩)医師 第2・第4 田嶋医師
再診担当	菊地医師 鈴木医師	田嶋医師 智田医師 佐藤医師	佐々木(浩)医師	智田医師 小野医師		

診療時間

月曜日～金曜日	8:30～17:00
土曜日	8:30～12:00
休日	日曜・祝日・お盆(8/14～16)・年末年始(12/29～1/3)

病院へのアクセス



社会医療法人智徳会

未来の風せいわ病院

〒020-0401 岩手県盛岡市手代森9-70-1

TEL：019-696-2055(代)

FAX：019-696-4185

<https://mirai-seiwa.com>

バス

●長岡線・日詰駅前行き

盛岡駅(5番)発又は盛岡バスセンターより乗車、手代森ニュータウン北口降車(約20分)バス停より徒歩5分

●日赤経由・ふれあいランド経由川久保線、乙部線手代森ニュータウン南口行き又は乙部行き

盛岡駅(5番)発盛岡バスセンター経由、手代森ニュータウン北口降車(約20分)バス停より徒歩5分

●中央線・都南の園営業所行き

盛岡駅(5番)発盛岡バスセンター経由、手代森ニュータウン入口降車(約30分)バス停より徒歩3分



車

●盛岡駅から車で20分
(国道4号・396号経由 水門バス停過ぎ左折後、500m左側)

●東北自動車道 盛岡南ICから車で15分
(県道36号・国道396号経由 同上)

※無料駐車場完備